

SSRI Forecasting Report

最近の出来事

2021年5月号

本コラムでは医薬品のフォーカスティングを行う上で役に立つ情報の提供を行っていきます。

4月14日の中医協総会で医薬品の新規薬価収載が承認されました（収載は4月21日）。今回は11製品の薬価収載が承認され、そのうち新有効成分含有医薬品は9製品でした。2ページ目にその一覧表を示しています。

今回売上規模が最も大きかった製品はエムガルティ皮下注でした。これはカルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）に対する遺伝子組換えヒト化IgG4モノクローナル抗体で、効能・効果は片頭痛発作の発症抑制です。本剤の薬理作用はカルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）拮抗作用であり、同様の薬理作用を有する既収載品はないこと等から、薬価算定上の最類似薬はないと判断され原価計算方式で算定されました。

日本イーライリリーによる予測投与患者数は4万8千人、予測販売金額は173億円でした。

9製品の投与形態別の内訳は、内用が5、注射が3、外用が1でした。算定方式別の内訳は、原価計算が5、類似薬効比較Ⅰが2、同Ⅱが2でした。また対象疾患の種類に注目すると、癌が3、希少・難治性疾患が4、その他が2でした。

株式会社 社会情報サービス
フォーカストチーム

1. 承認区分別の製品数

新有効成分含有医薬品	9
その他（新用量医薬品／新剤形医薬品、新医療用配合剤）	2

2. 新有効成分含有医薬品の一覧表

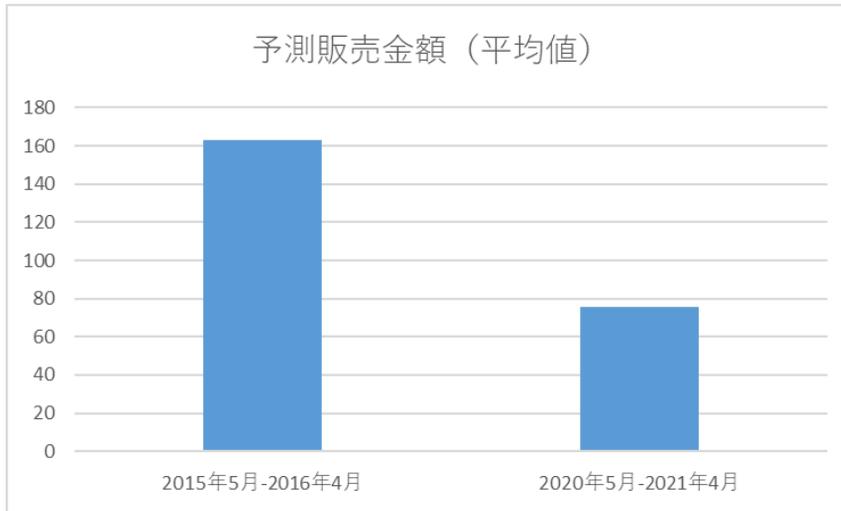
算定方式	製品名	会社名	投与形態	対象疾患	売上規模*
類Ⅱ	マスーレッド錠	バイエル	内用	腎性貧血	91
原	エドルミズ錠	小野	内用	がん悪液質	38
類Ⅱ	アルンプリグ錠	武田	内用	肺癌	51
類Ⅰ	カルケンスカプセル	アストラゼネカ	内用	慢性リンパ性白血病	26
原	オラデオカプセル	オーファンパシフィック	内用	遺伝性血管性浮腫	67
原	エムガルティ皮下注	イーライリリー	注射	片頭痛	173
類Ⅰ	ヒュンタラーゼ脳室内注射液	クリニジェン	注射	ムコ多糖症Ⅱ型	14
原	リンスパッド点滴静注用	オーファンパシフィック	注射	アンチトリプシン欠乏症	3.03
原	ジムソ膀胱内注入液	杏林	外用	間質性膀胱炎	7

* 予測販売金額（億円）

3. 各社による売上規模の予測値と傾向

9製品の合計金額 470億円
平均値 52.2億円

最近1年間の予測販売金額（平均値）を5年前と比較



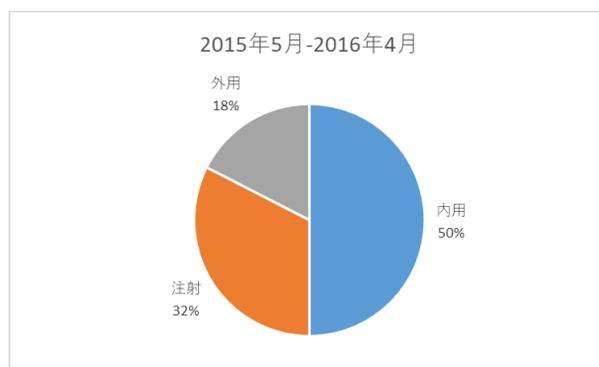
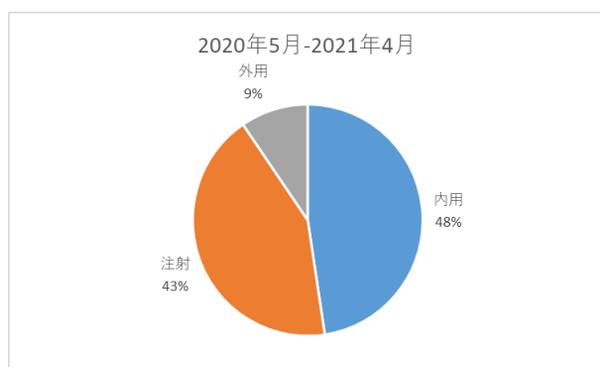
考察

予測販売金額から判断して、新製品1製品あたりの売上規模が減少傾向にあることが示唆された。

4. 投与形態別の製品数と過去との比較

内用	5
注射	3
外用	1

最近1年間の投与形態別内訳を5年前と比較



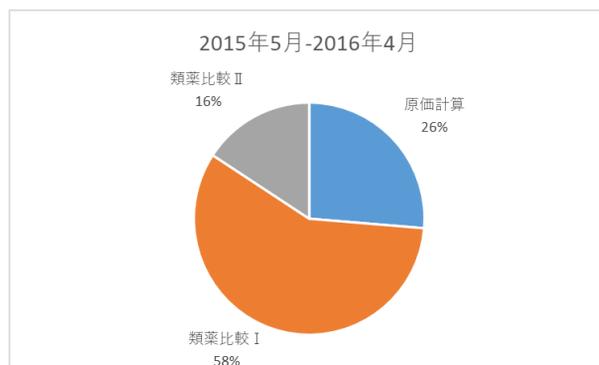
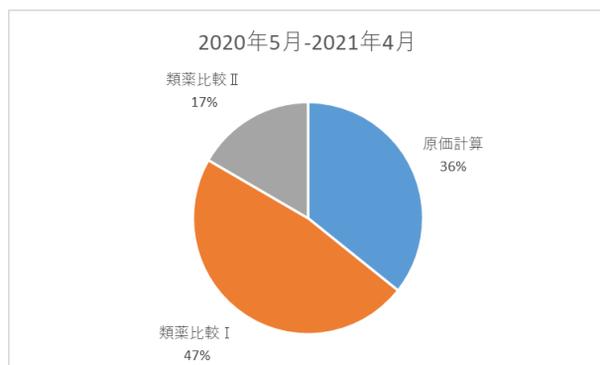
考察

注射薬が増加する傾向にあることが示唆された。

5. 算定方式別の製品数と過去との比較

原価計算方式	5
類似薬効比較方式Ⅰ	2
類似薬効比較方式Ⅱ	2

最近1年間の算定方式別内訳を5年前と比較



考察

類似薬効比較方式Ⅰが減少し原価計算方式が増加する傾向にあることが示唆された。